

現代小学生像をとらえようとして実施された調査は数多くある。しかし、父兄が自分の子供たちをどのようにとらえているのか、さらには現場の教師が自分の学校の、自分の学級の子供たちをどのようにとらえているのか、あるいは現場の学校長がこれらの現代っ子を、どのようにとらえ、どのように伸ばしてやろうと努力されておられるのかなどを、多面的に調査し、分析と考察を加えられた研究物は比較的少ない。このような観点から、本研究では、父兄・担任教師・学校長が現代っ子たちをどうとらえ、どのようなことを望み、どのような教育目標を立て、それをいかに実践してられるのかを調査し、分析と考察を加えることを目的とした。

3. 調査対象

調査対象は、福島・郡山・会津若松・いわきの4市から、市中心部の小学校、市内地区の小学校、市周辺地町（市外地区）の小学校を、各1校ずつ選別し、それらの小学校の1年から6年生までの各1クラス（72学級）の父母2352名と、クラス担任教師72名、学校長12名を対象者に選んだ。なお、12校の学校名は下記のとおりである。

福島市立 福島第四小学校
 " 清水小学校
 " 吉井田小学校
 郡山市立 金透小学校
 " 桑野小学校
 " 喜久田小学校
 会津若松市立 謹教小学校
 " 城西小学校
 河沼郡河東村立 河東第一小学校
 いわき市立平第一小学校
 " 平第五小学校
 " 赤井小学校

4. 調査日時

昭和51年10月下旬、アンケート用紙を各学級に送付し、11月13日までに、福島県教育センターに提出していただいた。

5. 調査方法・調査様式

調査の方法は質問紙法をとり、その1は父兄を対象としたものであり、その2は学級担任に対するもの、その3は学校長を対象とするものと、3つの部門に分かれている。以下はその様式見本である。

アンケート (I)

この調査は、家庭での子供さんに対するしつけの実態や悩みを調査し、よりよいしつけ、よりよい教育のあり方を考えていただくために実施するものです。ありのままを記入していただかないと、集計したものが不確実なものになってしまいます。どうか日ごろやられていること、考えられていることをありのまま記入してください。

福島県教育センター

————◇————◇————◇————

- 1) 父親の年齢 _____ 歳
- 2) 母親の年齢 _____ 歳
- 3) 母親の職業 有 無 (どちらかに○)
- 4) 子どもの人数 _____ 人
- 5) この調査を持参した子供の出生順序
 _____ 番目及び学年 _____ 年
- 6) この調査を持参した子供の性別
 男 女 (どちらかに○)
- 7) 宿題について (あなたの考えに一番近い回答を一つ選んで○をつけ、理由を下らんに入してください)
 ア もっと多くだしてほしい
 イ 今のままでよい
 ウ もっと少ない方がよい
 エ ない方がよい
 オ わからない

- 8) 家庭学習について (回答を一つだけ○でかこむ)
 ア よく勉強をみている